





















# SpO2 與 PaO2 的差異與關係

SpO2 與 PaO2 是評估氧合狀態的兩個重要指標。SpO2 是經皮血氧飽和度，PaO2 是動脈血氧分壓。兩者均用於評估肺部氧合及組織氧合。

SpO2 的測量原理是基於光吸收法，而 PaO2 的測量原理是基於電極法。SpO2 的測量較為簡便，而 PaO2 的測量則較為複雜且具有侵入性。

SpO2 的正常範圍為 95%-100%，而 PaO2 的正常範圍為 80-100 mmHg (呼吸室氣壓) 或 95-100 mmHg (呼吸室氣壓)。SpO2 與 PaO2 的關係可通過氧離子曲線來理解。

SpO2 與 PaO2 的關係並非線性，而是呈 S 型。在 PaO2 為 80 mmHg 時，SpO2 約為 95%。當 PaO2 降至 60 mmHg 時，SpO2 僅降至約 90%。這表明在 PaO2 較低時，SpO2 對 PaO2 的變化更為敏感。

## SpO2 與 PaO2 的臨床應用

SpO2 常用於監測病人的氧合狀態，而 PaO2 則常用於評估肺部的氧合能力。在臨床實踐中，SpO2 的測量更為簡便且無創，而 PaO2 的測量則更為準確且具有侵入性。



\* 肺動脈血酸素飽和度が低下する（動脈血酸素飽和度）は、心臓の病気の徴候である。

↳Precordial bulge : 胸骨の突出は、心臓の病気の徴候である。

\* 紫紺性心臓病 (Cyanotic Heart Disease) : 紫紺性心臓病は、心臓の病気で、血液中の酸素が不足する状態を指す。これは、心臓の構造異常、狭窄、閉塞、または心臓のポンプ機能が低下している場合に発生する。紫紺性心臓病は、心臓の病気で、血液中の酸素が不足する状態を指す。これは、心臓の構造異常、狭窄、閉塞、または心臓のポンプ機能が低下している場合に発生する。

心臓の病気の徴候は、呼吸困難、胸痛、疲労、および紫紺である。

心臓の病気の徴候は、呼吸困難、胸痛、疲労、および紫紺である。CHD-は、心臓の病気で、血液中の酸素が不足する状態を指す。これは、心臓の構造異常、狭窄、閉塞、または心臓のポンプ機能が低下している場合に発生する。

心臓の病気の徴候は、呼吸困難、胸痛、疲労、および紫紺である。CHD-は、心臓の病気で、血液中の酸素が不足する状態を指す。これは、心臓の構造異常、狭窄、閉塞、または心臓のポンプ機能が低下している場合に発生する。

心臓の病気の徴候は、呼吸困難、胸痛、疲労、および紫紺である。CHD-は、心臓の病気で、血液中の酸素が不足する状態を指す。これは、心臓の構造異常、狭窄、閉塞、または心臓のポンプ機能が低下している場合に発生する。

